

板橋区行政評価委員会（令和4年度第3回）

日時 令和4年7月7日（木）

午前9時から午前12時まで

場所 区役所北館11階 第2委員会室

次 第

1 開 会

2 議 題

（1）公開ヒアリング結果の報告について

（2）区長との懇談会・第4回行政評価委員会の運営等について

（3）その他

3 閉 会

【配付資料】

資料1 区長との懇談会・第4回行政評価委員会の運営等について（案）

資料2 外部評価表（案）330500 区道・橋りょう等の安全で快適な環境の確保

資料3 外部評価表（案）330600 放置自転車対策等交通安全の推進

資料4 外部評価表（案）130400 地域福祉の充実

資料5 外部評価表（案）130700 生活基盤の安定と自立の促進

資料6 外部評価表（案）320700 食品・環境の衛生力向上

区長との懇談会・第4回行政評価委員会の運営等について（案）

1 日時・場所

令和4年8月4日（木）10時00分～12時00分・区役所北館11階 第2委員会室
※スケジュールは、以下のとおりです。

2 当日のスケジュール

（1）10時00分 報告書（案）の事務局からの説明、決定

（2）10時20分 区長への「令和4年度板橋区行政評価委員会報告書」提出
引き続き、区長との懇談会

<進行>

区長に報告書を提出した後、すぐに懇談会に入ります。（10時20分から30分間）
司会：倉田委員長

これまでの行政評価活動を通じ、区の行政評価制度または関連する事項について、
①評価できる点と②改善すべき点に整理し、質問や意見等をお願いします。

— 懇談会終了後、11時00分まで休憩 —

（3）11時00分 第4回行政評価委員会

議題「今年度の外部評価の総括」について

- ・令和4年度の外部評価を通じての感想
- ・令和5年度の外部評価に向けたご意見や行政評価制度全体に係る課題・要望など

■外部評価表(グループ)

施策評価

グループ	B	委員名	村山委員・箕輪委員・野田委員		
施策名	130400	地域福祉の充実			
外部評価	評語	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調	<input type="checkbox"/> 停滞	<input type="checkbox"/> 達成
	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫して継続 <input type="checkbox"/> 目標値・指標の見直し <input type="checkbox"/> 事業手法の見直し <input type="checkbox"/> 事業の廃止			
施策の現状・課題 (成果の分析 /手段・環境 変化の分析)	<p>1. 民生委員のなり手不足が問題になっている。現状としては、推薦母体である町会・自治会の高齢化が進んでいるため、今後定数を埋めるのは厳しい状況である。そうした課題に対して、区では町会・自治会に対しての積極的な働きかけとともに、広報やパネル展示による民生委員のPR活動を行っているものの、状況は芳しくない。</p> <p>2. 民生委員を補助する役割の協力員(民生委員になる準備期間としてや、民生委員を引退した方など、地区によって様々)が存在する。</p> <p>3. 子ども食堂については、「子ども食堂支援事業補助金」の実績を見る限り、区の支援が減っているように見える。社会の動向を踏まえると、より支援が必要な状況ではあるが、実態としてはコロナ禍によって伸び悩んでいるのが実情である。</p>				
評価できる改善努力・ストロングポイント等	<p>1. セーフティネットの視点で、民生児童委員の活動支援や子どもの居場所づくりなど、幅広く支援を行っている。</p> <p>2. 一定程度、民間団体を活用し、支援を行っている。</p>				
改善の方向 (今後の展開方針、課題・懸案事項)	<p>1. 「地域保健福祉計画の進捗状況」や、保健福祉オンブズマン制度に関する指標をはじめ、評価表からでは取組の方向性が分からずらいものが見受けられた。指標には目標値の設定が馴染まないものもあることは理解できるが、指標値を上向きにしていくのか否かの方向性があるものについては、区民にも分かりやすく伝えられるよう、評価表の目標値欄に「↑」「↓」等を明確に示す必要がある。</p> <p>2. 民生委員のなり手不足の問題については、定員を充足させるために取り組んでいる啓発活動とともに、民生委員からの様々な意見に耳を傾けながら、根本的な問題点の解消に努めるなど、現場からの声に寄り添ったきめ細やかな対応が必要である。</p> <p>3. ヒアリングで一定の成果は確認することが出来たが、施策が幅広い業務を網羅しているためか、評価表からは読み取れない。区民へのアカウンタビリティの観点からどのような取組を行っているかを掲載することが望まれる。</p>				

外部評価所見(案) ※事務局まとめ	<p>福祉の基本的な考え方である「互助」や「公助」の構築に向け、区として民生委員を支援しながら、対象者を適切なサービスに繋げる仕組みづくりを目指していく方針であることは理解できた。</p> <p>一方で、さらに地域福祉を充実させるにあたっては、民生委員のなり手不足をはじめとする、様々な課題を解決していかななくてはならない。従来からの進め方のままでいいのか、今一度再検討願いたい。</p> <p>検討にあたっては、民間団体を活用するなど、支援の手法を変化させたり、より一層きめ細やかな支援体制を充実させるなど、考えうる対策を様々なアプローチで実施されることが望まれる。</p>
----------------------	--

区民委員補足意見(案) ※事務局まとめ	<p>民生委員も一区民である。時代の流れとともに、区民の職位に対する価値観が変化してきている。これまでのように民生委員の数の充足に目を向けた支援だけでは、支援が必要な方に行き届くことなく、孤立化は免れないと感じている。もう少し、視点を変えて支援をする段階になっているのではないかと。</p>
------------------------	---

■外部評価表(グループ)

施策評価

グループ	B	委員名	村山委員・箕輪委員・野田委員		
施策名	130700	生活基盤の安定と自立の促進			
外部評価	評語	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調	<input type="checkbox"/> 停滞	<input type="checkbox"/> 達成
	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫して継続 <input type="checkbox"/> 目標値・指標の見直し <input type="checkbox"/> 事業手法の見直し <input type="checkbox"/> 事業の廃止			
施策の現状・課題 (成果の分析 ／手段・環境 変化の分析)	<p>1. 施策のアウトカムについて、就労支援事業対象者の就職率を設定しているものの、令和3年度の就職率の実績値は34.6%である。6割程度の対象者については、達成まで継続して取り組む必要があり、ハローワークに繋がれよう努めている。</p> <p>2. 区立母子生活支援施設については、新宿区との協定に基づく相互利用制度がある。</p>				
評価できる改善努力・ストロングポイント等	<p>1. 板橋区では、多種多様な就労支援プログラムがあり、他自治体と比較しても色々な人を取りこぼさないための取組が行われている。</p> <p>2. 就労支援プログラムについては、実施された取組について「見守り」の側面から参加後に連絡するものもある。ケースワーカーの方でフォローアップはできている。</p> <p>3. 福祉事務所に福祉総合相談窓口を設置し、窓口を集約して対応にあたっており、区民からすれば相談がしやすい。</p>				
改善の方向 (今後の展開 方針、課題・ 懸案事項)	<p>1. 保護者の分布でいうと、志村・赤塚地区が多い。地域毎の傾向や特色によって、支援方法を変化させるなど、効果的な取組を進めていただきたい。</p> <p>2. 区の進める方向性としては、生活保護受給者の数を減らしていくのか否かのスタンスなのか不明確である。後者であれば、保護者の数を減らす取組ではなく、保護者に対する自立の取組を進めていくことが望ましい。</p> <p>3. 合わせて、施策のアウトカムについても同様に適切なアウトカムの設定を検討いただきたい。</p> <p>4. 社会的に注目されているひきこもり対策については、今後、潜在化したニーズの把握に努めるとともに、区独自の対策を進めてもらいたい。</p>				
外部評価 所見(案) ※事務局まとめ	<p>就労支援に関しては、他自治体と比較しても様々なカリキュラムを有しており、現状のきめ細やかなアプローチを引き続き進めていただくとともに、セーフティネットの考え方に基づき、取りこぼしのない支援を進めていただきたい。</p> <p>社会的にも大きな問題となっているひきこもりへの対策をはじめ、対応すべき課題は多岐にわたっている。そうした中で、これまでと同様の対応策では有効な手段とならない場合に、柔軟な対応ができるかどうかは鍵となってくる。</p>				
区民委員 補足意見(案) ※事務局まとめ	<p>生活困窮者の定義には、若者も含まれている。近年では、若者の路上生活者も増えてきていると聞いている。一般的な路上生活者と異なり、寝泊りしている場所がネットカフェやシェアハウスである場合が多いため、現実的には、区の対応が難しいかもしれないが、従来の場所を限定した声掛けだけでなく、異なるアプローチを期待したい。</p>				

■外部評価表(グループ)

施策評価

グループ	B	委員名	村山委員・箕輪委員・野田委員
施策名	320700	食品・環境の衛生力向上	
外部評価	評語	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 達成
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 工夫して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値・指標の見直し <input type="checkbox"/> 事業手法の見直し <input type="checkbox"/> 事業の廃止	
施策の現状・課題 (成果の分析／手段・環境変化の分析)	<p>1. 施策全般的な取組としては、各種法制度に基づき、「監視⇒違反⇒指導⇒改善」という流れで適切に行われている。</p> <p>2. 食品衛生監視員は18名おり、すべてが区の職員であり、各々が専門的な知見を生かしながら、営業許可監視指導及び衛生教育を実施している。</p> <p>3. コロナ禍により、現地への立入りができない部分(給食施設・高齢者施設)については、検査を実施することができなかった。そうした部分へのフォローについて、今後どのように進めていくのが課題である。</p> <p>4. 環境衛生においても、水害時の出水後の消毒など、地域の衛生面の維持向上にも取り組まれている。</p>		
評価できる改善努力・ストロングポイント等	<p>1. 他自治体と事事例の共有を行っており、ノウハウが蓄積されている。</p> <p>2. 食品検査における違反・不良率は、食品関係施設への監視指導の結果、はっきりとした成果が数字に現れている。また、その他の改善指導数や定期報告の督促数についても減少傾向にあり、成果をあげている。</p>		
改善の方向 (今後の展開方針、課題・懸案事項)	<p>1. 現状は、営業施設に関連する指標に偏っているため、区民の居住環境等に対する取組や成果を表した指標(対応が必要なものについて対応が出来た数など)を設定されることが望ましい。</p> <p>2. 取組のほとんどは法定業務であると推察するが、ペットの問題や災害時の衛生面の維持など、新たな環境対策等について、取り組まれている点もわかるように工夫されるとよい。</p>		
外部評価所見(案) ※事務局まとめ	<p>ヒアリングを通じて、食品及び環境に関して、法制度に基づいた取組は適切にされていることが伺えた。</p> <p>その一方で、せっかくの取組が評価表では十分にアピールできていない側面も見て取れたため、新たな指標の設定を通じ、より一層の成果をみせていくことが望ましい。その際、営業施設に関連する指標だけでなく、区民の居住環境の改善に向けて取り組んだ成果を表す指標を設定するといった工夫をされたい。</p>		
区民委員補足意見(案) ※事務局まとめ	<p>「地域の居住環境の衛生力の向上」とあるが、向上のために啓発などできることがあると思う。行政として、課題解決のために、現場の意見に耳を傾けて、画一的な支援ではなく、きめ細やかな支援が必要だと感じている。</p>		

■外部評価表(グループ)

施策評価

グループ	A	委員名	倉田委員・花輪委員・大畑委員
施策名	330500	区道・橋りょう等の安全で快適な環境の確保	
外部評価	評語	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 達成
	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫して継続 <input type="checkbox"/> 目標値・指標の見直し <input type="checkbox"/> 事業手法の見直し <input type="checkbox"/> 事業の廃止	
施策の現状・課題 (成果の分析／手段・環境変化の分析)	<p>1. 計画に基づいて実施している区道補修以外にも、区民から寄せられた陳情の中から必要なものを精査した上で道路補修を行っている。</p> <p>2. 近年の異常気象への備えに関する取組では、施策配下の事務事業の「河川維持管理経費(土木計画・交通安全課)」における水防訓練や「排水場維持管理経費」において点検を実施している排水機所による、雨水の溜まりやすい低地やアンダーパスへの対策を行っている。</p> <p>3. 歩道を整備する際には、バリアフリーや通行性向上の観点から、BFブロックを活用したり、幅員の確保を意識しながら整備を進めている。</p>		
評価できる改善努力・ストロングポイント等	<p>1. 道路をはじめとした土木インフラの維持管理については、道路や橋りょうだけでなく、街路樹等を含めた一体的な維持管理を行っており、近年増加傾向にある局地的豪雨に対する対策についても、単なる補修・維持だけでなく、透水性や浸透性、舗装の整備など新たな課題に対する改善も行っている。</p> <p>2. 街路樹の維持管理においても、大きい並木を大事にしたり、樹木診断をしながら、可能な限り緑を残していこうという考え方で進めている。そうした考え方は、グリーンインフラの考え方に通じるものがあり、今後植栽帯を活かした取組にも発展しやすい。</p>		
改善の方向 (今後の展開方針、課題・懸案事項)	<p>1. 施策展開シートにおける中間アウトカム「区道と私有地の境界の明確化」については、最終アウトカムとの関連性を踏まえた目的設定が必要であると考えます。</p> <p>2. 気候変動に伴い、昨今の局地的雨量はとてつもないものがある。道路だけでなく、都市全体としてグリーンインフラを維持管理する際には、例えば植栽や土壌が持つ自然の仕組みを利用して雨水の流出抑制などを行い、洪水などの対策にするなどの考え方を持って取組を進めてほしい。</p>		

外部評価所見(案) ※事務局まとめ	<p>道路や橋りょうをはじめとした土木インフラの維持管理については、計画的に補修を行うなど長寿命化を図り、安全で快適なインフラ環境の維持に効果的に取り組んでいくことが伺えた。</p> <p>今後は、今や世界の潮流といってもよい“グリーンインフラ”の考え方をベースに、街路樹や植栽帯等といった自然環境が持つ多様な機能を活用し、より一層、「人や環境」に配慮することを意識した取組を進めてみてはいかがだろうか。</p> <p>気候変動をはじめとした時代の変化に伴う社会的課題を踏まえ、透水性や遮熱性舗装材などを活用し、補修における“質の向上”を検討されたい。</p>
----------------------	--

区民委員補足意見(案) ※事務局まとめ	<p>令和3年度に新設された土木サービスセンターについては、既存の組織では見えなかった課題や苦勞があったと思われる。しかしながら、一体化による業務効率の向上や、区民からの窓口が集約されたことにより、これまでどこに連絡すればよいかわからなかったことについて、迷わずに済むことは確かな進歩だと感じる。</p>
------------------------	--

■外部評価表(グループ)

施策評価

グループ	A	委員名	倉田委員・花輪委員・大畑委員
施策名	330600	放置自転車対策等交通安全の推進	
外部評価	評語	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 達成
	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫して継続 <input type="checkbox"/> 目標値・指標の見直し <input type="checkbox"/> 事業手法の見直し <input type="checkbox"/> 事業の廃止	
施策の現状・課題 (成果の分析／手段・環境変化の分析)	<p>1. 駐輪場の管理は、従来一括委託していたが、令和4年4月から区内28箇所指定管理者に委託を開始した。残りの43箇所については令和5年度からの指定管理制度の導入を目指している。</p> <p>2. 直近の傾向として、区内における自転車事故発生件数は増加している。理由は定かではないものの、自転車宅配事業者増加に伴う事故件数増が要因の1つと考えられる。</p> <p>3. 指定管理者制度を導入したことにより、駐輪場において、“定期利用⇔当日利用”を柔軟に切り替えるなど、駐輪場を有効に活用した臨機応変な対応が可能となっている。</p> <p>4. 民間の自転車駐輪場も徐々に増えてきてはいるものの、依然、区の駐輪場の件数には到底及ばない。</p>		
評価できる改善努力・ストロングポイント等	<p>1. 自転車マナーの向上については、警察署や交通安全協会などと協力しながら、未就学児から中学生に対しての幅広い交通安全啓発活動によって、年代に応じた教育、マナーの向上に取り組んでいる。</p> <p>未就学児向け:げんきっ子 トラフィック・スクール 小学生向け:自転車運転免許証の交付事業 中学生向け:スタントマンチームによる交通事故再現(スクエアード・ストレイト)</p>		
改善の方向 (今後の展開方針、課題・懸案事項)	<p>1. 昨今の傾向としては、働き方の変化に伴い、定期利用が減る一方で一時利用が増えてきている。同時にシェアサイクルといったサービスにも目を向けながら、将来的な動向を勘案して進めていかれたい。</p> <p>2. 電動キックボードやセグウェイといった、これまでとは異なる新たな乗り物については、今年度策定した「自転車活用推進計画」でも触れている。そうした新たな移動手段も視野に入れながら、取組を進めていっていただきたい。</p> <p>3. 今後、自転車活用を推進していく上では、自転車利用の環境整備(自転車レーンや駐輪場など)を総合的に検討していく必要がある。</p>		

外部評価所見(案) ※事務局まとめ	<p>世界的な動向に目を向けると、今後間違いなく自転車の利用は増えていくことが予想される。さらに、自転車に対する価値観の変化によって、単なる移動手段という位置づけにとどまらず、環境に配慮した移動手段としての役割に様変わりしつつある。</p> <p>こうした中、“放置自転車対策”という施策においては、取組が順調に進んでいると評価できる。</p> <p>今後は、自転車利用を進めていくための取組で施策を再編していく必要があるのではないか。新たに策定した「自転車活用推進計画」との整合性を図りながら、検討を進めていかれたい。</p>
----------------------	--

区民委員補足意見(案) ※事務局まとめ	<p>自転車で商店街に立ち寄ると、駐輪スペースが確保されていないところが多く、不便を感じる。課題は多いと思うが、商店街専用の駐輪スペースをつくるなど、商店街来街者の増加にも寄与する対策を検討願いたい。</p> <p>また、交通安全の啓発について、未就学児から中学生までは啓発活動の効果もあってか、運転に危険を感じることは少ないが、大人の方が危ない運転をされていることが多い。教育や情報提供の機会をどのように確保していくのかが課題ではないかと感じている。</p>
------------------------	--